

## 「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
数学	数学演習β	3年	2	未定

到達目標 ※	数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bで学習した事項の復習を行い、基本的な概念、法則について理解を深め、問題を解く力をつけさせる。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	例題の解説と問題演習により、数学の基本的な事項と問題の解法を理解、定着させ、応用力もつける。センター試験や大学の入試問題を主に取り上げる。 【演習形式をできるだけ多く取り入れる。】

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	2次関数			
5月	最大・最小			
6月	2次方程式・不等式			
7月	三角比と図形 三角関数 指数・対数関数			
8月	場合の数	過去の大学入試問題を例題として、数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bでの学習内容の解説及び演習を行う。	定期考査	真面目に取り組み、課題が提出できているか。
9月	順列・組合せ	復習にも力を入れる。	課題の提出	基本的な事項が理解できているか。
10月	確率・期待値		ノートの提出	問題の解法が理解できているか。
11月	図形の性質	過去の大学入試問題を用いて演習を行う。	授業での演習	
12月	整数の性質		学習に対する姿勢	自分の力で問題を解くことができるか。
1月	ベクトル			
2月	等差・等比数列			
3月	種々の数列			
	漸化式			
	データの処理			
	総合演習			

※学習指導要領に示された教科の目標をふまえて設定すること。

別紙様式3-①の(1)に記した「学校設定科目」について、科目ごとに作成すること。